

平成30年度 経済環境部 農地利用担当部長の目標宣言 達成状況報告

経済環境部 農地利用担当部長 松浦 宏聡

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	農業の振興 (農業振興課)	<p>国県補助事業等を活用し、担い手への農地の集積・集約、新規就農者の就農直後の経営確立支援、荒廃農地の再活用、有害鳥獣の捕獲等を実施します。</p> <p>また、伊勢原市特産品地域ブランド推進協議会で選定されたブランド品「伊勢原うまいものセレクト」について、イベント出店などPR活動を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構を介した農地の集積 5ha</li> <li>・農業次世代人材投資事業による新規就農支援 2人</li> <li>・荒廃農地整備 0.5ha</li> <li>・サル大山群の捕獲 15頭</li> <li>・ブランド「伊勢原うまいものセレクト」のPR活動の実施</li> </ul>	<p>・農地中間管理機構を介した農地の担い手等への集積については、19件 3.7haの転貸に係るマッチングを支援し、担い手等の規模拡大や経営の安定化を図りました。</p> <p>・農業次世代人材投資事業(経営開始型)については、1名の新規就農者に交付金を交付し、就農直後の経営確立を支援しました。</p> <p>・荒廃農地整備については、候補地を複数選定し所有者に事業の活用を促しましたが、調整が調わず実施に至りませんでした。</p> <p>・サル大山群の捕獲については、冬季を中心に11頭の捕獲を行うことができ、全頭(15頭)の捕獲には至らなかったものの、31年度末まで全頭捕獲に向けて大きく前進することができました。</p> <p>・ブランド化の推進については、地域産業の活性化と伊勢原の知名度向上をオール伊勢原の体制で臨むべく、観光部局と連携した「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」を新たに立ち上げました。市内外のイベントに出店し、ロゴマーク入りのパンフレットを配布するなどして当該地域ブランドのPRを行いました。</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>・農地中間管理機構を介した農地の集積、農業次世代人材投資事業による新規就農支援及び荒廃農地整備については、事業創設から年数が経過し取組が減速傾向にあることから、遊休農地や担い手の状況を改めて分析するとともに、新規就農や農地貸借等に係るワンストップ窓口を設置するなどして、更なる推進を図ります。</p> <p>・鳥獣害対策については、サル大山群の31年度中の全頭捕獲に向けて引き続き取り組みを進めていきます。</p> <p>・ブランド化の推進については、「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」を事業者主体の取組として軌道に乗せるよう、引き続き観光部局と連携して支援を行っていきます。</p>	<p>・[実績値]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構を介した農地の担い手等への集積 3.7ha</li> <li>・農業次世代人材投資事業 1人</li> <li>・荒廃農地整備 0ha</li> <li>・サル大山群の捕獲 11頭</li> <li>・「(日本遺産のまち)伊勢原うまいものセレクト」のPR活動の実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロゴマークの作成</li> <li>・販売促進グッズの作成 パンフレット、ポスター、のぼり、法被、テーブルクロス等</li> <li>・イベント出店 14回</li> </ul> </div>